

# 平成30年度 全国学力・学習状況調査の結果から見た 浜小学校の児童の姿

4月に6年生を対象として実施された全国学力・学習状況調査の結果から見た浜小学校の児童の姿について、よさや課題等を次にあげます。この調査は、児童の学力や学習状況を把握・分析することで、学校における児童の教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的の一つとしています。

## 【教科別調査結果から見た傾向】

調査は国語、算数、理科の3教科で実施されました。本校の平均正答率は、国語のA問題(主として「知識」に関する問題)、国語のB問題(主として「活用」に関する問題)、算数のB問題、理科において、全国や神奈川県 of 公立学校の平均正答率と比較すると、下回る状況でした。算数のA問題においては、全国や神奈川県 of 公立学校の平均正答率と比較すると、上回る状況でした。

## ◇平均正答率(%)

	国語A	国語B	算数A	算数B	理科
浜小	70	53	65	51	58
神奈川県	70	54	64	52	60
全国	70.7	54.7	63.5	51.5	60.3

## ◇よい状況であった内容

### <国語>

- ・相手や目的に応じ、自分が伝えたいことについて、事例などを挙げながら筋道を立てて話す
- ・自分の想像したことを物語に表現するために、文章全体の構成の効果を考える
- ・目的に応じて必要な情報を捉える
- ・文の中における主語と述語との関係などに注意して、文を正しく書く
- ・学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う
- ・計画的に話し合うために、司会の役割について捉える
- ・目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書く
- ・推薦するためには、他のものと比較して書くことで、よさが伝わることを捉える

## ◇よい状況であった内容

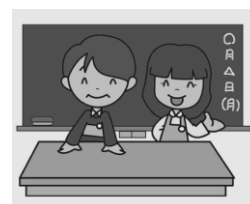
### <算数>

- 除法で表すことができる二つの数量の関係を理解している
- 1に当たる大きさを求める問題では、除数が小数である場合でも除法を用いることを理解している
- 異種の二つの量のうち、一方の量がそろっているときの混み具合の比べ方を理解している
- $180^\circ$  や  $360^\circ$  を基に分度器を用いて、 $180^\circ$  よりも大きい角の大きさを求めることができる
- 円周率の意味について理解している
- 直径の長さとお円の長さの関係について理解している
- 折り紙の枚数が100枚あれば足りる理由を、示された数量を関連付け根拠を明確にして記述できる

### <理科>

- 安全に留意し、生物を愛護する態度をもって、野鳥のひなを観察できる方法を構想できる
- 実験結果から電流の流れ方について、より妥当な考えに改善できる
- ろ過の適切な操作方法を身に付けている
- より妥当な考えをつくりだすために、2つの異なる方法の実験結果を分析して考察できる
- 物を水に溶かしても全体の重さは変わらないことを食塩を溶かして体積が増えた食塩水に適用できる
- 実験結果から言えることだけに言及した内容に改善し、その内容を記述できる

国語や算数では平均値を上回る設問数が過半数を占めました。国語では文を正しく書くことに基礎知識がついていました。算数の単位量当たりの計算では、平均値を上回る結果が出ました。理科では、適切な実験の方法や観察の仕方を理解し、結果や観察したことを記録することができました。



## ◆指導・改善が必要と考えられる内容

### <国語>

- 話合いの参加者として、質問の意図を捉える
- 目的や意図に応じて、文章全体の構成の効果を考える
- 目的に応じて、複数の本や文章などを選んで読む
- 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらか読む

### <算数>

- 十進位取り記数法で表された数の大小について理解している
- 示された表現方法を基に、空間の中にあるものの位置を表現することができる
- 百分率を求めることができる
- 合同な正三角形で敷き詰められた模様の中に、条件に合う図形を見いだすことができる
- 折り紙の輪の色の規則性を解釈し、それを基に条件に合う色を判断することができる

### <理科>

- 骨と骨のつなぎ目について、科学的な言葉や概念を理解している
- 調べた結果について考察する際に、問題に対応した視点で分析できる
- 人の腕が曲がる仕組みを模型に適用できる
- 堆積作用について、科学的な言葉や概念を理解している
- 土地の侵食について、予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して実験を構想できる
- より妥当な考えをつくりだすために、実験結果を基に分析して考察し、その内容を記述できる
- より妥当な考えをつくりだすために、複数の情報を関係付けながら、分析して考察できる
- 太陽の1日の位置の変化と光電池に生じる電流の変化の関係を目的に合ったものづくりに適用できる

国語では、目的や条件に応じて文章を編集する力や自分の考えを整理する力、中心になる考えを明確にして文章にする力が身に付くような指導を充実させていきます。また、文章を書く中で言語に関する既習事項を活用できるように支援していきます。

算数では、十進位取り記数法などの基礎基本を大切に、数直線や表、グラフや式などを効果的に活用して自分の考えをまとめたり、説明したりする力が身に付くような指導を充実させていきます。

理科では、既習事項や得られた結果等の情報も比較したり、関係づけたりしながら、普遍的な科学的真実に統合し、それを言葉として表現していく力に課題が見られました。

## 【生活習慣・学習習慣の調査結果から見た傾向】

### ◇よい状況であった内容

- ・朝食を毎日食べている
- ・家で、自分で計画を立てて勉強をしている
- ・テレビのニュース番組やインターネットのニュースをよく見る

### ◆改善が必要と考えられる内容

- ・自分には、よいところがあると思う
- ・学校のきまりを守っている
- ・家で、学校の宿題をしている
- ・今住んでいる地域の行事に参加している

普段の授業の中で、児童一人ひとりが意欲的に学習活動に参加し、自分の考えを発表したり、友達の考えを聞き合ったりしながら対話的な学習を進めていけるようにします。

身近な環境（人、もの、こと）に積極的にかかわり、見つけた疑問などから、こうしたいという思いや願いをもち、その実現にむけて仲間とともに、体験を通して探求的に取り組む学習を充実させていきます。活動を通して、自己有用感を感じることができるように学習のプロセスを大切にしていきます。

地域の方とのつながりをもった学習を充実させ、「地域に開かれた教育課程」の実践に取り組んでいきます。

幼稚園や保育園での育ちをつなぎ、日常生活できまりを守ることの心地よさを感じながら、きまりを大切にしていけるように教育活動を進めていきます。一人ひとりのよさを認め合える環境を充実させ、自己有用感を育てていきます。

